

葉隠塾長日記

先月初め、縁あってフランス鍛造協会の方と一緒に、姫路郊外へ刀鍛冶の見学に行きました。日本の作り方は、MF-TOKYOや、近鍛の講演会で聞いていたものでなんとなくわかっていましたが、炎の色を見るために光を遮った鍛冶場の中に一歩入ると、そこは神聖な雰囲気にも包まれ、話しかけるのをためらうほどでした。田んぼに囲まれた静かな鍛冶場で、ふいこの音だけが規則正しく聞こえ、いつまでも続くかと思いきや、突然短冊状に練り上げられた鉄を炎から取り出しハンマーで叩くと、甲高い音を響かせながら火花が鍛冶場中に飛び散り、鉄が鍛えられていきます。そして折り曲げて鍛接し、再び炎の中に鉄を戻すと、何事もなかったかのようになり静かさも戻って来ました。これを気が遠くなるくらい何度も何度も繰り返すことで鉄は鍛えられ、折れず、曲がらず、良く切れる日本刀に仕上がっていくのです。まさに「入魂の芸術」という言葉がピッタリ当てはまります。ですから刀匠は気難しい無口な方かと思いきや、とても穏やかで、刀についてたくさんのお話を教えていただきました。フランスの方も大変感動していたようで、写真を撮りまくって、フランス鍛造業界で紹介するとおっしゃっていました。本物の刀を触らせていただきましたが、緊張していたせいか思った以上に重く、刃文の妖艶な輝きを見てみると、「大和魂」を象徴する刀鍛冶、それを源流とする日本の鍛造業に貢献していることに誇りを感じることができ、少しでも日本刀のような人間になれるよう、自分自身を鍛えていかなければと思えました。

三浦光広

葉隠塾日々想々

彦坂 訓(ひこさか きたる)

十月中旬にインドネシアへ出張しました。十月上旬の日本は日中の残暑が厳しく、インドネシアでは当然常夏なわけで、帰国した途端、物凄い寒さを感じました。この時期で日本はかなり「寒い」と思うわけですから、現在長期でインドネシア・タイ・ベトナム等にて駐在されている方が真冬に日本に帰国した場合、「どうなるんだらう?」と考えると、「寒い」と「痛い」を想像しました。改めて駐在者、出張者の苦勞には頭が下がる想いです。またそんな寒さに負けないように体を動かして、スポーツの秋を楽しみたいと思います。

青木文生(あおき ふみお)

先日、人生二度目の北海道へ行ってきました。ちょうど雪の降る直前の滞在だったので、Tシャツとジャケットで過ごせる、涼しいと感じられる気候でした。

今回は初めて行くところばかりで、

まずはクラーク博士と初対面し、それから白い恋人の工場見学、ばんえい競馬のバックヤード見学、十勝川モーター温泉堪能など、分刻みのスケジュールで一杯回ってきました。

途中で立ち寄った北海道大学では、ちょうどイチヨウ並木の黄葉が最高の状態で、ここは本当にお勧めのスポットです。十勝の豚井もおいしかったので、少しばかり日常を忘れられる癒しの旅でした。

水野教晶(みずの あきのり)

今年は秋の訪れが早く感じます。寒さを感じて、十月の終わりにも関わらず、暖房器具を出してしまい、また酒のつまみもそろそろ暖かい鍋物が好くなって来ましたので、今年初めての「湯豆腐」を作り、酒のつまみにしました。体の中から温まって、少々風邪気味だったのが治った気がします。これから年末にかけて、気温の変化が大きいと思いますので、「食」からの健康管理に努めたいと思います。つまみ過ぎで、飲み過ぎには注意をして...

原田貴史(はらだ たかふみ)

滋賀県の竜王アウトレットに行ってきました。僕が今まで行ったことのあるアウトレットが岐阜県の土岐アウトレットだけなのですが、初めて土岐に行った時、予想以上の広さにビックリしました。しかし、竜王はそれをさらに上回る広さで、土岐の時より驚きました。

秋用の服を色々買おうと思って行ったのですが、いろいろと目移りしたり、金額が高かったりと何時間か場内を歩き回った結果、なぜか最終的にナイキで運動用の靴を買って帰りました。目的の物は買えなかったですが、スポーツの秋に向けていい買い物できたんじゃないかと思えます。

今月もお楽しみいただけましたか?
来月もよろしくお願ひします!



楠精工 株式会社

- ・社員数：43名
- ・ご提供できるもの：各種ダイホルダー及び治具・自動化装置 設計製作
(ダイホルダー部品、プレス部品、ハンマー部品、切断刃、中間ビーム、現地加工他)
- ・スローガン：お客様の喜ぶことをしよう!
- ・住所：名古屋市熱田区三番町4-13
- ・連絡先：電話 052-651-7138 / Fax052-653-0020
- ・URL：<http://www.kusunoki-dieholder.com>